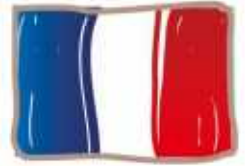




## 「フランス人との国際交流イベント」



先月28日（日）、大阪市のYOLO BASEで表記イベントが行われ、昨年のフランス（クロミエ総合高校）交流に参加した本校生6名（1年生4名、2年生2名）が参加しました。

三木市縁結び課が主催で、三木金物を用いた「オリジナルマイ箸作り」や、書道や太鼓の体験、パフォーマンスなどを、フランス人らとともに楽しみました。

以下、参加した生徒の感想（抜粋）です。

たくさんの国の方が集まって下さり、一緒にものづくりをしたり、太鼓を叩いたり、日本の文化を楽しめました。私は、カナダの方と一緒に太鼓をしたり、フランスの方と一緒に書道をしました。自分から積極的に話すことが出来たのがよかったです。今回の交流がとても楽しかったので、また機会があれば行きたいと思います。大阪に着くまでは不安でしたが、着くと、縁結び課の方がイベントの詳細を丁寧に教えてくださいました。イベントが始まると、太鼓と書道のパフォーマンスや箸作りなど、様々な体験をしました。私は特に台湾人の小学校の先生とたくさん話しました。簡単な日本語や英語でもかなり相手のことを知れるんだなと思いました。イベントにはたくさんの国の方々が参加していて、中には日本語が話せない方もいたけど、たくさんお話しできて楽しかったです。日本人の私達も普段経験できないようなことを経験できたので、参加して良かったなと思いました。また、このような機会があれば参加してみたいと思うようなイベントでした。たくさんの方々が来られていて、自分にとっても海外の人とコミュニケーションをとる良い機会となりました。日本の文化を楽しむことができ、太鼓やお箸作りなど、楽しかったです。良い経験になりました。



## 「グローバル教育発表会」

2月3日（土）、中学生17名を含む50名弱の来場者を迎え、第6回グローバル教育発表会を開催しました。体育館での開会式の後、会議室と視聴覚室とに別れてそれぞれの会場でパワーポイント発表を4本。1年生は日本語、2年生は英語で発表をしました。8分程度の発表の後、各会場とも、かなり白熱した質疑応答が行われました。

そのあとは、中学生は本校の外国人教員と英語でのゲーム（クイズ）を交えたレク（「ミッキーフェスティバル」）、本校生と一般の参加者は体育館で1・2年生合計6班のポスター発表を聞きました。こちらも1年生は日本語、2年生は英語。パワーポイント発表と同様、熱い質疑応答が繰り広げられました。以下、アンケートから抽出した中学生の感想です。

- ・英語はあまり得意じゃないけど、パワーポイントが分かりやすく、内容を理解できた。
- ・様々な班の発表を聞いて良かった。英語で話していたり、パワーポイントに例を出してまとめていたところが良かった。
- ・世界の様々な問題に目を向け、どのように解決していくべきかしっかり話し合った上で発表されているのがよく伝わった。私も入学したら先輩方のように活発な活動をしていきたい。
- ・質問に対してしっかり対応できていてすごかった。英語がととてもよかった。



~~~~~

「『叱ってもらえないZ世代』問題」というものがあるそうです。（異世代も異文化。）

最近、イチロー氏が部活動の指導に関して「厳しく指導してもらえない今の若者は不幸」という話（『叱られる』は、『自分で頑張ることができない人』の最後の救済手段だったのに、パワハラを恐れて厳しい指導がなくなり、『常に自分に課題を与えて1人で前に進める子』と『そうでない子』の二極化が進む」という趣旨）をしたことを契機に、SNS上ではチラホラと賛同の声が上がってきています。他の人が言ったら炎上したかも知れない意見ですが、イチロー氏が言うと説得力があるんですね。（「誰が言うか」も大事。）

炎上覚悟である意見（の趣旨）を紹介します。（もちろん「パワハラ」はいけません。）

「だったら今の若者は楽勝だ。かつてはみんながそうだった『叱られることを受け入れる（他人の力を借りて自分を向上させる）ヤツ』『（コスパ・タイパにとらわれず）量をこなすヤツ』が希少となり、そこに取り分が集中するわけで、シメシメと思った方がいい。」

ピンチはチャンス。みなさんはどう考え、行動しますか？〔国際・探究推進部長 田尻 淳〕